

2018年4月2日

関係各位

三重大学教養教育院長
綾野 誠紀
「公印省略」

教員の公募について（依頼）

このたび、三重大学教養教育院では、下記のとおり専任教員（年俸制）を公募しますので、関係者等にご周知いただきますようお願い申し上げます。

- 職名： 准教授又は講師
- 雇用期間： 2018年7月1日～2023年6月30日（7月1日に赴任できない場合には、それ以降のなるべく早い時期。各種評価や予算状況等により、更新をすることがある。採用日から3か月は試用期間。）
- 人員： 1名
- 担当分野： 外国語教育科目「英語」、スタートアップセミナー、教養ワークショップ、専門分野に関する講義科目（以上すべて英語による授業）（試用期間中も同様）
- 給与・勤務形態： 国立大学法人三重大学年俸制適用職員給与規程による年俸制とする。年俸額は、経験等を勘案して決定する。専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。
- 応募資格： (1) 授業を担当するほか、教養教育院（特に英語特別プログラム（以下の【三重大学の教養教育について】参照）の運営に関する業務を担当できること。
(2) 大学院修士課程（博士課程の前期課程を含む。）修了者、または学位規則第5条の2に規定する専門職学位（外国において授与された、これに相当する学位を含む。）を有する者で、採用予定日において2年以上の教育または研究歴を有する者、またはこれと同等以上と認められる者。ただし、研究歴には大学院（博士課程の後期課程）の在学期間を含めることができる。
(3) 英語の母語話者であること。もしくは、同等の英語運用能力を有すること。国籍、年齢は問わない。
- 応募書類： (1) 履歴書（写真貼付）【市販のもので可】
(2) 研究業績一覧表
①著書 ②論文 ③その他に分類すること（査読つき論文は明示すること）。
(3) 主要な研究業績5点以内（コピーでも可）
(4) 主要な研究業績の要旨（1篇につき400字程度）
(5) 一年生を対象とした専門分野に関する講義15回分のシラバス
教育実績報告（A4一枚程度、書式自由）
教養教育に対する抱負（A4一枚程度、書式自由）
(6) その他
担当授業科目に関してこれまでの実績資料がある場合には提出することができる。
- 応募締切： 2018年4月25日（水）12時必着
- 着任時期： 2018年7月1日
- 選考方法： 書類選考および面接・模擬授業（書類選考合格者のみ、面接・模擬授業の日時・場所などを通知）
- 書類提出先： 封筒に「教養教育院専任教員応募書類在中」と朱書きの上、下記宛てに書留郵便で送付してください。
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
三重大学教養教育院長 綾野 誠紀

雇用者氏名： 三重大学長 駒田 美弘

問合せ先： 三重大学教養教育院チーム総務担当：世古， 鈴井

電話：059-231-9820・9827 Eメール：kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp

その他： (1) 提出書類は原則として返却しません。博士論文等返却が必要なものはその旨お伝えください。

(2) 勤務時間等は本学規定によります。

(3) 提出書類は選考以外の目的には使用せず、返却しない書類は選考後適正に廃棄します。

【三重大学の教養教育について】

三重大学では 2015 年度から新しい教養教育を行っています。全学の学生が履修する共通カリキュラムは次の 2 つの理念に基づきます。

「自律的・能動的学修力の育成」

単に知識だけを持っていても常に変動する社会に対応することはできません。自律的・能動的に学ぶ習慣を身につけ、それを基盤に主体的に問題を発見し解を見いだしていく力が必要です。これにより不測の事態にも対応できる社会人の養成を目指します。

「グローバル化に対応できる人材の育成」

国際社会で活躍できる人材，グローバルな視点で地域を活性化できる人材の養成を目指します。ただし，真にグローバルな人材とは，外国語ができるだけでなく，世界的視野で物事を考えるとともに，多様な個別文化も尊重し，理解できる眼を持つ人材です。それによって自らの社会や文化も相対化することができ，地域に根ざすグローバルな人材となりえるからです。

カリキュラムは教養基盤科目と教養統合科目から構成されますが，「スタートアップセミナー」と「教養ワークショップ」は教養基盤科目のアクティブ・ラーニングに位置付けられ，自律的・能動的学修力の育成をめざす全学必修の授業です。「スタートアップセミナー」では，グループごとに課題を見つけ，それについて調査・議論し，その成果を発表します。「教養ワークショップ」では，学生が自分で書籍を読んで書評を書き，お互いに批評し合う授業を行います。これらは，教養教育院の専任教員，特任教員が担当しますが，これらの運営や FD 研修等に積極的な役割を果たすことが求められます。

教養統合科目は，地域理解・日本理解，国際理解・現代社会理解，現代科学理解の 3 領域に分かれています。社会学およびその関連分野の科目は，地域理解・日本理解領域、国際理解・現代社会理解領域で開講されます。

・地域理解・日本理解

地域に根ざし国際社会で活躍できる人材の育成という大学の目標の実現のため，地域を理解し，それを地域において活用することを目指す科目，それに基づき，バランスのとれた国際人となるよう日本を理解する科目を履修します。これらを国際理解，異文化理解のための科目と併せて履修することにより，自らの文化，視点を相対化することが可能となります。

・国際理解・現代社会理解

今後の複雑な国際社会に対応できる人材を育成するため，英語力増強，異文化理解に加えて，東西の歴史や思想，政治・経済・社会のしくみ，現代の国際情勢などを学ぶ科目を国際理解・現代社会理解として履修します。

・現代科学理解

国際的に活躍するため、あるいは、国際社会を理解するために必要な情報科学、環境とエネルギー、生命科学などさまざまな科学的問題の基本的知識とそれらについて合理的・科学的に考える力を育成します。

○英語特別プログラム

「グローバル化に対応できる人材の育成」の理念に基づき、1年次対象の英語特別プログラムを2015年度から設置しています。同プログラムは、入学時の英語プレースメントテストで所定の水準を超えた学生を対象とし、英語の中上級科目、英語によるアクティブ・ラーニング領域科目（スタートアップセミナー、教養ワークショップ）および講義科目の所定単位を修め、さらに、1年次春休みに英国シェフィールド大学において実施する短期海外研修を修了した学生を本プログラムの修了生として認定します。

三重大大学の教養教育の理念、カリキュラムについて詳しくは次をご参照ください。

<http://www.ars.mie-u.ac.jp/>